

環境まちづくりをめざす

# あじえんだ

# 春

2002

第11号

2002年5月15日発行



「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味。  
「京のアジェンダ21フォーラム」では、市民・事業者・行政が力を合わせて  
環境と共生できるまちの姿を描いていきます。

みやこ  
の  
ア  
ジ  
エ  
ン  
ダ  
2  
1  
フ  
ォ  
ー  
ラ  
ム  
ニ  
ュ  
ー  
ス  
レ  
タ  
ー



## 巻頭特集

### パートナーシップで創る京エコロジーセンター

センターオープンへの経過及び展望ビジョンをインタビュー

#### アジェンダ見聞録

アジェンダ21とスウェーデン社会  
～ カルマル市の事例 ～

#### アジェンダNOW

京都の自転車文化を考える  
「環境にやさしい宿泊施設へ」調査報告・検討会  
KES、1年を振り返って

アジェンダフォーラム会員紹介 ひと・まち・きたる

竹花 由紀子 さん

未来に残したい  
京の知恵

自転車の100年

自転車が似合うと

いわれる事は、

つまり沢山の

「消えてゆくもの」の時代のなかで、

自転車と同じようにこの京都が

「残りつづける」ところでありたい

という人々の願いだったのです。

写真 山口洋典

\* 詳しくは5ページをご覧ください



環境市民代表理事  
秋本育生さん

センターは、スタッフはもちろん利用者や事業者、行政からいろんな提案ができる場だと、今後への期待を込めて語る。

**京**(みやこ)エコロジーセンターは構想・設計の段階から、市民と行政のパートナーシップで進められた画期的な施設だ。当初から中心メンバーとして関わってきた環境市民代表理事の秋本育生さんに、その経緯と課題を話してもらった。

「誕生のきっかけとなったのは、京都市廃棄物減量等推進審議会における議論でした。もう8年前になりますね」。審議会では、廃棄物の減量には市民一人一人の活動を促すことが重要だと確認し、減量の実践普及・環境教育・市民の視点に立った調査研究の拠点とし

てのエコロジーセンターの必要性を答申に明記した。その後、審議会メンバーを中心にエコロジーセンター研究会が立ち上げられ、清掃局から委託を受けて先進事例などを調査した。

京都市は1997年、COP3開催の記念として『京都市環境学習・エコロジーセンター(仮称)』の設置を正式決定。基本構想策定懇話会を設け、研究会を中心に検討してきた清掃局の構想と、衛生局環境保全室が進めていた環境学習の場づくり構想の統合を図る。99年後半から研究会、市、設計事業者の協働で基本設計、詳細設計、展示設計が始まった。

「通常はコンサルティング会社に任せられる基本設計や実施設計に研究会の意見が反映され、市民の提案に基づいて設計されたのは珍しい事例でしょう」。印象的だったのは、公共施設の設計段階で将来のユーザーの意見を聞くことができたのは得がたい経験だったという声が設計業者から返ってきたこ

と、「行政側も市民がコンセンサスをつくる努力を尽くしているのを見て信頼感が生まれたのではないか。公共施設づくりに積極的に市民の参画を求めることが必要と思うようになった気がする」と、秋本さんは述懐する。

「建物も展示内容も市民の思いがある程度実現しました。準防火地域のため木造建築が認められず、ピオトープも小規模になり、展示内容に満足していない部分もある。でも市民が主体的に関わり、事業者や行政とのキャッチボールを繰り返しながら作業をしないと実現しないものでした。市民参加のプロセスは貴重な経験となったし、今後のセンター運営にも継承されていくはずですよ」「環境活動のノウハウや知識を身につけ、情報や活動のネットワークを築き、市民の力を高めるという点で、京のアジェンダ21フォーラムと理念を共有する。それぞれの役割分担の明確化と協調態勢の構築が当面の課題でしょうね」。

巻頭特集

# 京都を創る 環境都市 アジェンダと創る

# パートナーシップで創る 京エコロジーセンター 京のアジェンダ21 推進の拠点に

## ボランティア・スタッフ

西村 隆雄 さん

(定年退職後、ボランティアに参加)

大気汚染、室内環境の分析計の開発に従事してきたので、「環境」に関する認識はあると自負していましたが、環境ボランティア研修に参加して「環境」に対する意識・視点・感性等々の広角、ハイレベルに驚きました。「エコセン」を介して、「地球・人にやさしい環境とは」を具体的に、提案、提供できるよう、頑張っていきたいと思っています。



左：ビデオを活用して学習を深めるAVコーナー

右：気づきと学びのひろばには、豊かな暮らしへの提案がまっている

野村 典子 さん

(地域女性会でも活躍中)

2年前、環境家計簿の参加から、「私の環境」が始まりました。桃山南地域女性会のみなさんと地域清掃、山科川堤防を花で美しくする活動、廃品回収、廃油回収、生ごみからの土作りと身近なことから先ず実践しています。新しい学びと交流の中で「私の環境」が広がることを期待しています。

中津瀬 英里 さん

(大学に通いつつ、ボランティアに参加)

環境に深い関心を持つ方々との出会いは、私にとって大きなものでした。京エコロジーセンターでの多くの出会いを大切に、私自身も来館された人たちに何か伝えられるよう、センターに関わっていきたいです。



あじふんだ

春  
2002

**京**(みやこ)エコロジーセンターの事業運営を担う事業長に就任した戸田耿介さんは、京都市の招請を受けて兵庫県立「人と自然の博物館」から移ってきた。そこで、センターへの期待と今後の抱負を聞かせてもらった。

「話があったのは昨年秋です。日々の暮らしや生活実感から離れている博物館での環境教育に限界を感じ、自然保護と生活が結びついた場を求め、模索していた折だったので、センターに魅力を感じたんですよ」と、転身の動機を説明する。

戸田さんは大学卒業後、フィールドで生き物に関わる仕事がしたいと国立公園レンジャーの資格をとり、国や自治体(兵庫県)の職員として自然保護行政に携わってきた。だが、データが存在せず感覚的にしか提言できない自然保護は宗教だと批判され、バックデータの必要性を痛感。新たな可能性を求めて「人と自然の博物館」の開館に参画した。

「学校ではできないことをやる、日本

では感じられないものを感じる」を基本に、子どもたちを1週間ボルネオに連れて行ったりしました。子どもたちは目を輝かせて現地の生活を楽しみます。しかし、自然体験をしても、自然保護が日々の生活に結びつかないという現実がある。非日常的な自然体験を生活につなげる教育と方法、つまり暮らしの場から考える環境教育が必要なんだと思い当たったんですよ」と。そうした環境教育の実践をセンターに期待したいというのが戸田さんの思いだ。

「センターでは、環境と自分のつながりに対するイマジネーションを養うことを大切にしたい。展示を見て終わりではなく、生活に対して1つでもヒントを得て持ち帰ってもらう。そんな暮らしを変えていくプログラムの開発を積極的に行っていきます」「開発したプログラムや方法論をさまざまな団体・組織・地域と共有したい。コーディネーター役こそ公設民営型であるセンターの役割だと思います。また、どこにでも顔を

京エコロジーセンター事業長 戸田耿介さん

センターの施設ボランティアには、自立した市民の先頭グループとして期待している。



して地域の人々にセンターを身近に感じてもらうきっかけを作りたい。関心を生行動につなげていくことが、情報を鵜呑みにしない自立した市民を育てることになるでしょうから」。

「市民参加型のセンター運営を実現し、活動を全国に発信したい。京のアジェンダ21フォーラムとも連携を強め、地域に役立つ共通の課題を探りたい」と、意欲満々だ。

いよいよ念願の京エコロジーセンターがオープンしました。このセンターは環境パートナーシップ活動の核として、京のアジェンダ21の推進にも大きな役割が期待されています。市民、事業者、行政の参加とパートナーシップのもとで運営されていくことになっており、京のアジェンダ21フォーラムもセンターに活動拠点を移すと同時に、センター事業の企画運営実施にも積極的に関わっていきます。センターの構想段階から関わってこられた当フォーラム幹事長代理の枚本育生さんと、今後のセンター事業の中心となる戸田耿介事業長のお二人にインタビューしました。また、センター事業の大切な担い手となる環境専門員と施設ボランティアの方にもこれからの抱負を語っていただきました。

**環境専門員** (環境教育、地球温暖化防止、環境保護活動などについての専門的な知識や実務経験があるセンターの職員)

イラスト：竹花由紀子



**豊田 陽介**

これまで大学院での研究を通じて環境保全活動やNGO活動に参加してきました。今後はそういったさまざまな活動を支援する側に回り、京都における環境活動がより活発化するよう努めていきたいと考えています。



**小田 貴志**

昨年度までは、大学院で「きのこ」の研究を行いつつ、学外でいろいろな環境教育活動に関わってきました。いろいろな人たちと、このスタート段階の楽しさを共有しながら、いい場づくりをしていきたいと思ひます。



**竹花 由紀子**

フォーラムより「転職」して参りました！ 最近は核家族化が進んでいますが、京エコロジーセンター

が、よその家のおじいちゃんおばあちゃんとはよその家の子もたちが交流する「世代をこえた生涯学習の場」になればいいなあ。



**足立 理子**

伝統的な暮らしの知恵が今なお残る、京都が好きです。その魅力をこれからもずっと伝えていきたい、そのためには皆さんと一緒にいるんなアクションができれば、そしてそこでたくさんの笑顔が広がればと思っています。



**松野 晴美**

環境市民の自然住宅研究会を中心とした環境保全活動をはじめ、京都の暮らしを「衣・食・住」の視点から市民の人達と共に発信する企画をしてきました。常に日常

生活での実感が大切だと思っています。



**白勢 昭**

「どうやった、ぼく」「おもしろかった！」「よかったな！ お母さんはストレス発散したわ」-京エコロジーセンターで耳にした母子の会話です。感動を得たのでしょうか。感動につながる意識変革が期待できそうです。



多くの人が集うエントランスホール



# アジェンダ 21 とスウェーデン社会

## ～ カルマル市の事例 ～

去る3月13日、「ローカルアジェンダ21国際交流セミナー」が開催されました（於、コープイン京都）。この日のゲストは、スウェーデン・カルマル市のローカルアジェンダ21コーディネーター、ポー・リンドホルムさん。今回は、リンドホルムさんの講演よりカルマル市の事例を報告します。

### カルマル市とは

カルマル市は、スウェーデン南東部に位置する人口約6万人の港町。1397年のカルマル同盟（現在の北欧5カ国を統一した同盟）の調印の舞台、カルマル城が現存している歴史観光都市です。

スウェーデン政府は、820億円の資金を用意し、自治体の環境対策に助成金を出していますが、その助成自治体の第1号となったのがカルマル市。スウェーデンの中でも、環境対策に熱心に取り組んでいる都市なのです。

リンドホルムさんは、その助成金プロジェクトの担当者となり、市内の学校にバイオマスによる熱供給施設を設置して大きな効果を上げました。スウェーデンでは、政府が自治体に大きな権限を与え、自治体が企業などとのパートナーシップで取り組むことを進めています。

しかし、スウェーデンでも、最初からこんなに熱心な取組をしていたわけで

はありません。リンドホルムさんが30年前に現在の仕事を始めたときには、むしろ今の日本のように、小さな団体で資金不足に悩みながらプロジェクトを実施している状態だったそうです。また、カルマル市長は、9年前には環境対策にほとんど関心を持たず、「環境はコストがかかるばかりだ」と言っていたとのこと。それが現在では、カルマル市の環境対策のリーダーとして、取組の推進役になっています。

### ローカルアジェンダ21とスウェーデン社会の仕組み

カルマル市を始め、スウェーデンの自治体が環境問題の解決に取り組み、大きな成果を残しているのはなぜでしょうか。その理由として、情報公開と地方分権が進んだスウェーデン社会の仕組みが挙げられます。

スウェーデンの国民は、個人情報を除く全ての公的文書を見ることができ、自分たちの税金の使われ方をチェックできるそうです。何しろ、近年のスウェーデン政界最大のスキャンダルといえば「政治家が公的なクレジットカードでチョコレートケーキを買ったこと」だということですから、日本の状況からは想像も及びません。そのような厳しい国民の目が光る国だからこそ、公共事業は厳しく監査されます。これは逆に言うと、よい事業をすると大きく評価されるということを意味します。カルマル市長が環境対策にリーダーシップを発揮するまでになったのも、環境対策に取り組むことによって大きく評価されるようになったからだそうです。

また、スウェーデンでは自治体が課税の権利をもち、地方分権が進んでいます。スウェ

ーデンの全自治体がローカルアジェンダ21を策定していますが、ほとんどの自治体において、ローカルアジェンダ21のスタッフは市長の直轄で働いているそうです。

情報公開の結果、国民と政治家の間に厚い信頼感が生まれます。そして、自治体の長がほぼ直接的にローカルアジェンダ21を進めています。こうしたスウェーデンの社会的背景のもとで、環境対策のプロジェクトが飛躍的に推進されたといえるでしょう。

### おわりに

「京都議定書で有名なキョウトに来ることができて、本当にうれしい」リンドホルムさんが、講演中に繰り返し語っていた言葉です。しかしながら、次々と紹介されるカルマル市の先進的な事例と京都の現状との間にあまりの格差を感じ、気恥ずかしくなっていました。

しかし、リンドホルムさんに、当フォーラムのパイロット事業で作成した「京都自転車ルートマップ」をプレゼントすると「すばらしい地図だ」「カルマルではまだこのような地図をつくっていないので、ぜひつくりたい」と激賞(?)。そして、「大きい取組で失敗するよりも、小さな成功を積み上げるのがよい。そして、その小さな成功を盛大に祝うことが大切。そうやって長く続けていると、ある日突然成果が出てくる」「スウェーデンは20年以上かけて、環境先進国となった。京都でも、小さな成功を少しずつ積み上げてがんばってほしい」とエールを送っていただきました。

京都議定書の名に恥じない「キョウト」づくりに向け、着実に歩を進めていこうと心を奮い立たされた講演でした。  
(竹花由紀子)

京のアジェンダ21フォーラム、環境市民、気候ネットワーク主催



持続可能な発展のための地域投資プログラム（規模：3200万ユーロ）プロジェクト責任者であったリンドホルム氏

**Q** このごろ、様々な容器や包装が気になってしかたありません。商品包装が全く無用というわけではありませんが、たいいてい容器や包装は商品を家に持って帰った後、すぐ不要になります。これら容器や包装が、いったいどれぐらいするのか、価格をおしえてください。

**A** 容器や包装の価格は商品代に含まれていて、わかりにくいですね。筆者の調査によると、飲料缶はアルミ、スチールともに350ml標準缶で18～20円。食品トレイは白色トレイ（13cm×8cm程度）で5円ほど。同じ大きさでも刺身などの柄物トレイは20円超。カップ麺の容器は30円ほど。ペットボトルは1.5～2lの大型ボトルで50～70円。牛乳パック（1l）は15円ほどします。

熊本市の「四葉の会」というグループの調査によると、夫婦、子ども2人の家族で一週間に254点の容器包装ごみが発生し、その価格は約3,000円になったとのこと。これら容器包装代は、分別し、リサイクルに出しても返ってくるわけではありません。

容器包装にかかる費用はこれだけではありません。容器包装ごみはかさ張るため、収集の手間を増やし、ごみ処理費用も増加

させます。京都市の家庭ごみ1トンあたりの処理費用は99年度約64,700円で、これをごみ袋1つ分（4kg）に換算すると約260円になります<sup>2</sup>。1975年は約75円でしたからすさまじい増え方です。処理費用増大の一因に容器包装の増加もあるわけです。また容器包装を分別収集・リサイクルする場合、ごみとして処分するより同重量あたり数倍の費用が必要なことも知る必要があります。

市民も自治体も、たいへんな費用を支出しているわけで、容器包装そのものを減らす必要がありますが、その具体的方法はまた別の機会に。

- 1 容器包装ごみの比率 = 60.2%（容積比）  
「京都市環境局事業概要」平成13年度版より
- 2 前掲書より

堀 孝弘（ほり たかひろ）  
特定非営利活動法人「環境市民」事務局長

其の拾壹、

## 自転車の100年

風も柔らかくなる頃となり、ただ歩いているだけでも幸せだけれど、いつまでもなく自転車にも「生きてて良かった！」の季節です。ところで「京都は自転車の似合う町だ」とよくいわれる。専用車線もなく駐輪公害のこの町で、何がどう「似合」っているのか。

ときに、その自転車の姿はなぜか100年位前からあまり変わっていない。新しい素材やアイデアの新型も色々と発表されたが、結局「デモ、ヤッパリ、これかな」と先祖返りをしてしまうところが面白い。

あらためて身の回りを眺めてみると茶碗やハシの食器、ナベ包丁の台所道具、家具など長い間姿を変えずに暮らしに寄り添って「残りつつけて」きた無駄のない道具達があることに気がつきます。そして一方には3年も経つとその輝きを失い「消えてゆく」ものの世界もあり、この二つの道具世界の間を揺れ動いているのが私たちの今の暮らし。

「消えてゆくもの」と「残りつつけるもの」。変わるものがない、つまり完成したこれらの道具はやはり身分がひとつ上なのでこの際、尊敬しましょう。そして品格のある乗り方、使い方を身に付けることができたとき、自転車も暮らしの美として京都の景色になることが出来る。

自転車が似合うといわれる事とは、つまり沢山の「消えてゆくもの」の時代のなかで、自転車と同じようにこの京都が「残りつつける」ところでありたいという人々の願いだったのです。

恩地惇

（会員、環境デザイナー）

（株）K京都取締役社長

写真 山口洋典



## 京都の自転車文化を考える

京都で、自転車をめぐる様々な動きが起こっています。エコロジカルで気軽に利用できる交通手段である自転車と京都のまちづくりについて考える契機になるのではないかと思える最近の動きを紹介します。



この一年は、まちなかを訪れる人に体感してもらおう期間。ペロタクシーを通じて京都のまちなかについて考えるきっかけづくりができれば嬉しい、とメンバーの細尾さん

### ～ 人と環境にやさしいVELO TAXI ～

乗って楽しい乗り物で、気づいたらエコにも貢献していた。ペロタクシー（VELO TAXI）はそんな乗り物のようです。「ペロ VELO」とは「自転車」という意味。ドイツで開発され、現在ヨーロッパを中心に11カ国20都市で重要な交通機関となっています。

ペロタクシーを京都で走らせようとしているのが、NPO法人「環境共生都市推進協会」。芸術活動をしていた仲間だったメンバーは京都で生まれ育ち、変わっていく町並み、97年の京都議定書採択、生活の中で実感する環境問題などを通じて、京都のために何ができるのかを考え始めたと言います。そして、知り合いを通じて知ったペロタクシーで京都の

まちに貢献していこうと、NPO法人を立ち上げました。

通過交通が多く、危険で、バスが入れない細街路で公共交通機関や車に代わる気軽な交通機関となれるペロタクシーは、きっと人がたくさん集い楽しく回遊できるまちづくりに役立つことでしょう。また、渋滞を緩和することで二酸化炭素削減にも貢献していきたいとのこと。5月17日からまちなか（烏丸・四条・御幸町・御池で囲まれた地域）で走行します。運賃大人300円、小人200円。一度乗られてはいかが？

（問合せ先：NPO法人環境共生都市推進協会  
TEL / FAX 075-241-7645）

### ～ 活用されるレンタサイクル ～

#### その1 自転車で京都を楽しむ

観光客向けにマウンテンバイクを貸し出すKCTP（Kyoto Cycling Tour Project）は、予約制で配達回収も実施しているので、好きなところから乗って、好きなところで乗り捨てることができます。また、市内のサイクル・ターミナルでも借りることが可能です。

住民も観光客も交通渋滞に悩まされる観光シーズンはもちろん、そうでない時でも自転車で京都をめぐれば、自由自在に楽しむことができます。車を降りて自転車で観光する京都のエコツーリズムが広まれば、観光地も駐車場だけでなく駐輪スペースを明確にすることが必要になります。KCTPでは、そのようなインフラ整備の必要性や、利用者へのマナー啓発も呼びかけながら、自転車観光を広めていこうとしています。（マウンテンバイク：配達2000円、ターミナル1500円、問合せ先：075-467-5175）

#### その2 放置自転車対策にも.....

昨年9月から、出町柳駅まででレンタサイクル事業をはじめたカリオン。カリオンのレンタサイクルは「都市型レンタサイクル」といって、都市内で通勤・通学あるいは業務・買物等に利用されるものです。月単位で自転車が貸し出され、利用者はそのまま家に乗って帰ることもでき、また電車に乗る際には店が駐輪場代わりに代わります。盗難、撤去、メ

ンテナンスをする必要がなく駐輪代が一切かからないので、毎日駅～自宅・会社（学校）間を行き来する通勤通学には便利なシステムです。100台以上の自転車を所有するのにそれほどお店のスペースが大きいのも特徴。通常の駐輪を考えれば到底入りきりませんが、一台の自転車を複数の人が時間差をもって利用するので、全ての自転車が店に留まることなくスペースを効率よく使うことができます。

出町柳では駐輪場は既に満杯の状態。放置自転車問題は深刻です。このタイプのレンタサイクルは既に阪急電鉄が桂駅で実施されている他、京都市の「都市型レンタサイクルワーキンググループ」でも一ヶ年にわたり市民・事業者・行政が協議を重ね、新たな拠点への導入が決まりました。駅に集中する自転車駐車台数の総量を減らす効果もあるので、今後地域の放置自転車対策にもつながることが期待できそうです。（レンタル料金は月額2800円、1日からの利用も可能。叡電出町柳駅南側、問合せ先：070-5792-1085、平日7時～22時 土日祝8時～19時）

まちなかや駅周辺に自転車が溢れている風景からもわかるように、多くの市民が自転車を活用しています。放置自転車や使用者マナーの問題が深刻な中で湧き起こってきた様々な自転車まちづくりの動きをきっかけに、問題解決に向けた試みが進み、京都に似合う魅力的な自転車文化が創造されていくことを願います。



### ワーキンググループのご紹介

～ 京のアジェンダ21 フォーラム参加の窓口 ～

「京のアジェンダ21」の重点取組を進めるため、ワーキンググループ（WG）を設置して活動しています。WGの会議、行事等の予定については、ホームページと月刊事務局通信でご覧いただけます。お問合せはフォーラム事務局まで（8p参照）。

#### ライフスタイルWG

地域での環境活動を促すプログラム、グループ、人づくりを進め、市民生活、地域コミュニティにアジェンダの取組を広めていきます。

#### 企業活動WG

京都版環境管理認証制度「京都・環境マネジメントシステム・スタンダード（KES）」、環境にやさしい商品の購入（グリーン購入）の推進などで環境にやさしい企業を応援します。

## ◎ <環境にやさしい宿泊施設へ> 調査報告・検討会

3月14日、滋賀県立大学の仁賀崇之さんが、エコツーリズムワーキンググループと実施した宿泊施設の環境配慮に関する調査研究の発表をされました。

仁賀さんは、京都市内の宿泊施設に93項目からなる環境取組チェックシートを送付し、各施設に自己チェックを依頼しました。そして、現状においてよく取り組まれている取組と、あま

<b>『取り組みやすい』取組</b> 点検・整備型 メリット明確型 他業者依存型	取組の 難易度が 低い
<b>『取り組みにくい』取組</b> お客負担型 環境配慮特化型 手間・工夫必要型 機械・設備導入型	取組の 難易度が 高い

表1

り取り組まれていない取組を分類しました(表1)。そして、施設の環境配慮を5段階

	1	2	3	4	5
ホテル	2 (9)	9 (41)	7 (32)	3 (14)	1 (4)
旅館	7 (17)	16 (38)	14 (33)	2 (5)	3 (7)
その他	0	1 (50)	1 (50)	0	0
全体	9 (14)	26 (39)	22 (33)	5 (8)	4 (6)

表2 宿泊施設のタイプ別における総合評価結果表(件)( )内の数値は%

階で評価するシステムを考案し、実際に施設を5段階評価しました(表2)。

発表当日は、宿泊施設で初めてKESを取得した京都ホテルオークラより事例報告もいただきました。他にも約10軒の宿泊施設から経営者・環境対策担当者が参加されました。

宿泊施設は、お客に協力を得ることが難しいこともあり、製造業等に比べ環境管理認証制度を導入しにくい傾向にあります。しかし、宿泊施設のエコ化は環境観光都市京都の推進に欠かせないことであるという「京のアジェンダ21」の指針を再確認し、着実に宿泊施設への環境対策の呼びかけを進めていきたいと思えます。

- の数が多ほど
- ・1つの取組を深く進めている
  - ・多くの取組を行っている
  - ・取組の難易度が高い



## 中小企業の感動を、より多くの地域へ 京都・環境マネジメントシステム・スタンダード(KES)、1年を振り返って

京のアジェンダ21フォーラム常任幹事(KES認証事業部コーディネーター)

日本電池(株)環境管理室室長 津村 昭夫

京都・環境マネジメントシステム・スタンダード(KES)は2001年4月にスタートし、2002年3月末で当初予想(60件)を上回る104件の組織が認証取得され、その内41件(約40%)が「京都以外の組織」が占める状況となっています。

認証取得された多くの中小企業の責任者は「われわれ規模の企業が実際に環境改善活動に参画でき、それを認知し合えるこのような仕組みができて本当に良かった」と感動していただいています。その流れの一環として、KES認証取得された企業がお互いに環境問題に対する企業の取り組むべきテーマや環境ビジネス創出の意見交換等を目的としての交流会組織「KES倶楽部(仮称)」設立の新しい動きも見えてきました。

また審査員・コンサルタントも、当初28人でスタートしましたが、現在で53人(東京都や島根県等全国から参画していただき、内4人が女性)が登録されており、「この活動に参画して本当に良かった」と「やりがい」を感じておられます。

この間、多くの新聞や環境専門誌(特に「日経エコロジー」の12~4月号に5回にわたって連載)等にKESの関連記事を掲載していただいたこともあり、全国各地の自治体や環境関連団体等から多大な関心を寄せていただきました。さらに各地から「独自の環境認証制度を策定したいのでぜひKESを参考にさせてほしい」等のお問合せや要請を多数受け、これらのうち関西地区・東海地区・北東北地区等多くは「KESを協働で取り組んで行く方向」で話し合いが進められており、その先頭を切ってお隣り大津市の「おおつ環境フォーラム」とは2002年度から「KESで協働活動」することが決

定し、今後このようなケースはさらに拡大するものと予想されます。

2002年度は、京都市や京都市教育委員会の協力をいただき懸案の「小中学校でのKESの取組」が始まりますし、またホテル等のサービス業への適用拡大も予定しています。

さらに、KESの認証取得企業を「環境にやさしい企業」としてISO14001認証取得企業とともに大手企業の「グリーン調達基準」に認知されることをも視野に入れた「京都グリーン購入ネットワーク(仮称)」につきましては京都府が中心になり、府下の市町村・市民団体・事業者団体等の代表者が集まり、2002年1月に「設立準備会」(仮称)が発足しました。すでに京都市が「KES認証取得企業からも積極的に物品購入する」ことを明確にされ、同じ趣旨を明確にされている京都における企業は島津製作所、ワコール、オムロン、モリタ製作所、堀場製作所、村田製作所、日本電池で、さらに日新電機等多くの企業もその方向で検討されています(京都以外の地域でも、いくつかの大手企業で「ISO14001と同様の環境マネジメントシステムとしてKESを認知していただいている」と聞いています)。

KESは、圧倒的多数を占める中小企業が、間もなく発効される「京都議定書」の理念を実現するために、少しでもお役に立てればと考えていますし、またそのことが中小企業の元気を取り戻すチャンスにもなっていくと確信しています。

京都・環境マネジメントシステム・スタンダード(KES)は2002年5月15日よりKES・環境マネジメントシステム・スタンダードに名称変更しました。

### ゼロエミッションWG

「エミッション」とは「廃棄・排出」。廃棄物を減量し、資源を循環させるシステムの提案を検討します。

現在、独自の活動は行っており、企業活動WGに協力しています。

### エコツーリズムWG

環境と調和したサービス、施設、交通機関のもとで提供できる京都の観光を探っています。京都エコツアー実施団体のネットワーク化をめざしています。

### 環境にやさしい交通体系の創出WG

公共交通や自転車の利用の促進、都心部のエコ交通推進など、京都において環境と人にやさしい交通体系の創造をめざしています。

### エコミュージアムWG

エコミュージアムとは「地域まるごと博物館」。地域に元からあった「モノ」「コト」を、住民自らが発見し生かす、まちづくりの仕組みを探っていきます。

ひと  
まち  
きたる

## 竹花 由紀子 さん



待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」  
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動  
されている方を紹介していきます。

1999年9月より京のアジェンダ21フォーラム事務局アシスタントを勤め、今年3月末日をもって退職。4月1日、京(みやこ)エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター)の環境専門員に着任。エコ漫画家としても活躍中。

## 環境保全活動に関わり始めたのはなぜですか？

学生時代は教師をめざして、中でも環境教育に興味を持っていました。大学4年生のときに、環境NGOの「環境市民」と出会い、「京都エコ修学旅行」のプログラムづくりをしたことが始まりでした。

現在は、環境市民のエコ修学旅行の中心的リーダーになってらっしゃいますよね。修学旅行生への環境学習の手ごたえはどうですか？

おもしろいです。京都が好きで、子どもが好きなので、ひと粒で二度おいしいというか。大文字山では、京都の街を眼下に眺めながら、平安京の歴史や里山の変遷を学ぶ。西陣では、町家や路地を観察しながら、厳しい気候条件と調和してきた京都人のエコロジカルな知恵を学ぶ。最初はいよいよながらついてきていた修学旅行生たちが、だんだん目を輝かせていく、その姿を見るのがやみつきになってしまいました。

本当は遠いところからの修学旅行生だけでなく、近くにいる京都の子供たちにも体験してほしいのですが。

## 京エコロジーセンターではどんなことを？

まだまだ始まったばかりで、事業も具体的に決まっていません。でも、施設の展示や、昨年度から養成した99名のボランティアガイドの潜在力は「ものすごい」と自負しています。このパワーを生かして、京都の子どもたちが、地球規模の環境問題と自らの生活のつながりを体感する学習機会を提供していきたいと思っています。

## 京のアジェンダ21フォーラムにおいてはどうでしたか？

主にエコツーリズムワーキンググループの活動に関わってきました。京都市内のさまざまなエコツアープログラムや地域活動を知ることができて、勉強になりました。今までは事務局という立場からワーキンググループをサポートしてきましたが、これからはメンバーの一員として、円卓を囲む仲間になりたいと思っています。

## エコ漫画家としても活躍中ですね？

いやいや、そんな。漫画は単なる趣味ですから。環境漫画って描く人が少ないから、重宝がられているだけです。今はここ、フォーラムとA SEED JAPAN、それに環境市民の三つのニュースレターで連載しています。1年前に単行本も自費出版したんですが、在庫がほとんどなくなってしまったので、増刷を検討中です。

## 最後に、フォーラムのみなさんにメッセージをどうぞ。

フォーラムの活動も、3年近くが経過し、だんだんまとまってきましたね。年々高まる環境問題への関心の高さからいっても、これからが正念場だと思います。フォーラム事務局も、センターに引っ越して来るので、所属は変わりましたがこれからも一緒に楽しく活動したいですね。

## 今日はありがとうございました。

(聞き手・撮影 千葉有紀子)

竹花由紀子さんのホームページ「それゆけ!果報者」  
<http://homepage2.nifty.com/kahoumono/soreyuke/>

## 京のアジェンダ21フォーラム入会のご案内

## 【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

\*会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

銀行振込口座：UFJ銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

## 【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググループへの参加、主催行事への参加など

みやこ

## 京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 2002年春(第11号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL. <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

企画：同フォーラムニュースレター編集チーム

編集：河村吉宏・佐藤桂子・竹花由紀子・竹村光世・千葉有紀子・能村聡・宮田晃一郎

デザイン・レイアウト：藤本芳一・山口洋典

このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。